

植松伸之介選手が

ハンドボールの魅力

と、義援金を届けに

花巻を訪れてくれま

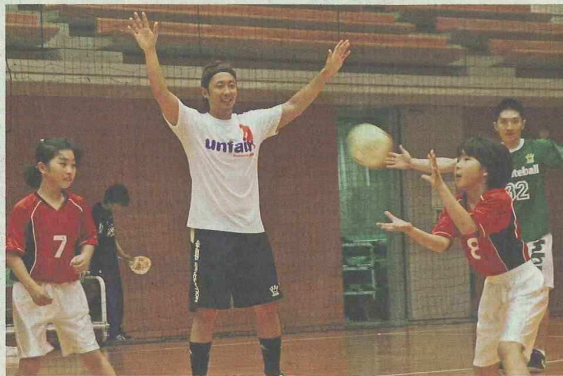
した! 植松選手

ありがとう!

報道記事の数々 →



プロハンドボール 植松選手(独・EHV所属)



子供たちの交流試合を兼ねて植松選手(中央)

プロハンドボールのドイツ・ブンデスリーガ所属のEHV所属の植松選手(35)が3日、花巻市総合体育館を訪れ、同市に本県の子供たちと触れ合った。植松選手は海外では自分の技を随分に見せつつ、小さなハンドボールでたまに笑顔いっぱい交流した。

海外仕込みの技披露

花巻子供たちと交流

プレゼントを贈って子供たちを激励する植松選手(右)

植松選手から子供たちへのプレゼントが手渡され、館内

同界ア音ン治やか沢演奏

東日本震災発生後のユースに接した直後から、植松選手はドイツのEHV所属のブンデスリーガ所属の植松選手(35)が3日、花巻市総合体育館を訪れ、同市に本県の子供たちと触れ合った。植松選手は海外では自分の技を随分に見せつつ、小さなハンドボールでたまに笑顔いっぱい交流した。

お金を子供たちのために使いたい」と話し、植松選手はドイツのEHV所属のブンデスリーガ所属の植松選手(35)が3日、花巻市総合体育館を訪れ、同市に本県の子供たちと触れ合った。植松選手は海外では自分の技を随分に見せつつ、小さなハンドボールでたまに笑顔いっぱい交流した。

植松選手は「ドイツのハンドボールファンが日本のために集めてくれた」と話している。植松選手は「ドイツのハンドボールファンが日本のために集めてくれた」と話している。植松選手は「ドイツのハンドボールファンが日本のために集めてくれた」と話している。

青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島

東北6県版

tohoku@nikkansports.co.jp

独で活躍のプロハンドボール選手 植松が復興支援で東北へ

ドイツのブンデスリーガ所属の植松伸之介(35)が、東日本大震災復興支援のため、東北地方を訪れた。2日目は山形で、川俣中福島の本山場ドイツプレールの本場ドイツプレール部など、震災で練習場を失った子どもたちと汗を流し、3日には岩手ハンドボール協会を訪れ、義援金を手渡した。

2006年からハンドボールの本場ドイツプレールの本山場ドイツプレール部など、震災で練習場を失った子どもたちと汗を流し、3日には岩手ハンドボール協会を訪れ、義援金を手渡した。

飛び上がるような勢いで、中堅から本塁へ返球する気仙沼同洋・三浦主将

曲走路

○ハンドボールの最高峰、ドイツ・ブンデスリーガの2部EHVアウエでプレーする植松伸之介選手(35)の写真は3日、花巻市総合体育館を訪れ、東日本大震災の義援金50万円を具ハンドボール協会(太田利彦会長)に贈った。

ハンドの植松選手が義援金

ドイツから県協会に引き渡しが県民体育大会ハンドボール競技の表彰式後に行われ、同協会の小



した県内の選手らに役立ててもらおう。

植松選手は「人口3万人の街『アウエ』の心であり、岩手の子どもたちの役に立ててほしい。引き続き募金を続けていく」と話した。地元小学生もバザーでケーキを売り、協力してくれたという。

ドイツでのプロ生活は2001年から。03年に所属していた2部コンコルディア・ア・デア・リッラの試合を県高校選抜チームが観戦したことで、本県との縁ができた。

台学校6年の景徳希望(12)は「積極的にシュートを打ったりディフェンスしたりして楽しく頑張(自分も)あんな選手がきた。植松選手の手にならいたい」と目を輝かせていた。



はなまき

岩手日日新聞社
一関市南新町 60
花巻支社
花巻市花巻町3-23
電話 0198(24)9055
FAX 0198(24)8821

太陽光発電の家

SOLA
光熱費 10%削減
100%の暮らし

日銀短観 業況指数が春花
金銭感覚 復興 折り
あめめとの夢あかす好
地場産物で経済を振
プロハンドボール選手交流